

京都の寺社の被災・存続状況調査資料のCGによる視覚化

CGコンサルティング

クライアント：立命館大学工学部歴史都市防災研究センター

2003-

京都市内の主要寺社約400件の、建立時より現在に至るまでの自然災害・火災による被災及びその後の再建・存続状況調査結果のCGによる視覚化。時間軸を縦にとり、存続時は不透明、被災等によって完全な外観を保持していない場合は透明、再建工事中は半透明の棒グラフとして表現。ある年代の地図を水平に差し込んだときにその時の全寺社の存続状況が一目でわかる仕様とした（現在進行中）。最終的には寺社ごとにデータを参照したり全体を回転させてあらゆる方向から俯瞰できるようなインタラクティブに操作できるデータとして一般に公開の予定。データ解析・CG制作・視覚化監修。

